

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2	年次	1年次
担当者	松田 真由子						
使用教科書	FLEX English Communication I（増進堂）						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

In this class, you will practice the four English skills: listening, speaking, reading, and writing. You will work in pairs or groups to discuss various topics and deepen your thinking by sharing ideas. The main goal of this class is to become confident in expressing your own ideas in English. You will also practice thinking critically and, more importantly, asking thoughtful questions about what you read and hear. We will use the textbook as a base while exploring topics related to your daily life, your interests, and current social issues. You will be encouraged to form your own opinions, question ideas, and respond to others with your own questions. I hope you will challenge and inspire one another and develop your ideas more deeply. Good questions are often more important than correct answers!

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅰ）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① ゆっくりはっきりとした発話であれば、理解することができる。	① 音声変化やイントネーションを意識して読むことができる。	① 身近な話題や関心のある社会的な話題であれば、相手の発言を受けて、間違いを恐れず即興で自分の考えを表現することができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら発音することができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、具体的に書くことができる。
② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をある程度理解することができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、話の展開やその全体像を想像することができる。 ③ 辞書を活用しながら、文中の品詞や意味のまとまりを意識して読むことができる。	② 相手の発言内容を確認したり、つなぎ言葉（gap fillers）を使ったりして、やりとりを続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、具体的に話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備をすれば、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・英文の内容、文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、正確に用いている。	・英文で書かれた文章を理解し、要約したり、自分の言葉で言い換えたりしている。 ・英文で書かれた文章に対する自分の意見を述べたり、疑問を考えたりしている。	・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たそうとしている。 ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしようとしている。
評価 方法	定期考査、小テストなど	定期考査、パフォーマンス課題（プレゼンテーション、リテリング、レポート作成など）	パフォーマンス課題、リフレクションの内容

4. 学習の活動

* 太字の単元は重点的に学習する予定である。

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	Starting Lesson Lesson 1: How Can We Become Stronger? 助動詞/ to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・の形容詞的用法 Lesson 2: The Jar of Life 動名詞/間接疑問文 Lesson 5: Mount Fuji 使役動詞/節を導く形式主語 it <Performance Test ① / Project ①>
2 学期	Lesson 3: It's Always Sunny in Space! 後置修飾/現在完了形 Lesson 4: Mary Anning – The Great Fossil Hunter 関係代名詞/過去完了形 Lesson 6: Thomas the Tank Engine and SDGs 関係代名詞 what/強調構文 it~that... Lesson 7: Virtual Water 関係代名詞の非制限用法/関係副詞 <Performance Test ② / Project ②>
3 学期	Lesson 8: Lessons from the Past for the Future 仮定法過去/仮定法過去完了 Lesson 9: Biomimicry-Inspired by Nature 知覚動詞/分詞構文 Lesson 10: Donald Keene and His Love of Japan 前置詞 + 関係代名詞/完了進行形

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現Ⅰ	単位数	2	年次	1 年次
担当者	伊佐 達輝						
使用教科書	MAINSTREAMⅠ（増進堂）						
副教材等 （出版社）	Vision Quest 総合英語 Ultimate(啓林館), Vision Quest Workbook 24（啓林館） Vision Quest Workbook 47(啓林館), Insight 英文法・語法・熟語 問題集（啓林館） Audrey Hepburn(啓林館）						

1. いい学びをつくるためのマインドセット

In this class, you will learn English grammar to help you communicate in English. You will also learn new skills and knowledge by actually using English. Try to use English as a tool for communication and learning. Don't be afraid of making mistakes. Mistakes help you improve. The more you practice, the better you become. So, keep learning grammar, keep communicating, and keep improving. Grammar helps you express your ideas clearly and accurately. By the end of the course, you will be able to express your ideas more clearly and confidently in English.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List (高 I) より

聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① ゆっくりはっきりとした発話であれば、理解することができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をある程度理解することができる。	① 音声変化やイントネーションを意識して読むことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、話の展開やその全体像を想像することができる。 ③ 辞書を活用しながら、文中の品詞や意味のまとまりを意識して読むことができる。	① 身近な話題や関心のある社会的な話題であれば、相手の発言を受けて、間違いを恐れず即興で自分の考えを表現することができる。 ② 相手の発言内容を確認したり、つなぎ言葉 (gap fillers) を使ったりして、やりとりを続けることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら発音することができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、具体的に話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備をすれば、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、具体的に書くことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価規準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価する。
評 価 方 法	定期試験・パフォーマンステスト・課題 評価問題 (小テスト)	Performance 課題 定期考査	課題等の提出状況 アクティビティへの取り組み

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）	
	教科書	副教材
1 学期	Part 1 speech Introducing Yourself Part 2 presentation Talking about Everyday Life	Vision Quest Workbook 47 Audrey Hepburn Insight 英文法・語法・熟語問題集 Breaking News English
2 学期	Part 3 discussion Exchanging Your Ideas Part 4 debate Thinking about a topic critically	Vision Quest Workbook 47 Insight 英文法・語法・熟語問題集 Breaking News English
3 学期	Part 5 writing Thinking about our society and the world	Vision Quest Workbook 47 Insight 英文法・語法・熟語問題集 Breaking News English

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	年次	2年次
担当者	曾野 玲子						
使用教科書	New Rays English Communication Ⅱ（いづな書店）						
副教材等	Contemporary Topics 2（Pearson）						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

この授業では、英語を「学ぶもの」としてだけでなく、「楽しみながら使うもの」として捉え、主体的に学習に取り組む姿勢を育てます。授業では AI ツールを積極的に活用し、情報収集や表現活動の幅を広げることで、現代社会に必要な英語運用能力とデジタルリテラシーの向上を目指します。また、「人権」を重要なテーマとして、諸外国の事例や考え方に触れながら、多様な価値観への理解を深め、自分自身の意見を英語で表現する力を養います。こうした学びを通して、最終的には「自分はどのような人間になりたいのか」「どのような人生を歩みたいのか」を主体的に考えるための礎を築いていきます。

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅱ）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストフテジャー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストフテジャー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 音声変化などを理解し、自然な語彙の発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、ある程度流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをある程度適切に伝えることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら、ある程度流暢に話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、要約して書くことができる。
② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、概要をつかんだり必要な情報を読み取ったりすることができる。 ③ 段落の構成や展開を要約し、未知語の意味を推測しながら読むことができる。	② 対人関係によって表現を選択しながら、相手に意見を求めたり話題転換したりするなどのストフテジャーを用いてやりとりを続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、再話する、あるいは要約して話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、概要や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、概要や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能 60%	b：思考・判断・表現 30%	c：主体的に取り組む態度 10%
観 点 の 趣 旨	コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価規準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組んでいるか、「学び」の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価する。
評 価 方 法	定期試験・パフォーマンステスト・課題 評価問題（小テスト）	Performance 課題 定期考査	リフレクション・課題等の提出状況 Performance 課題での努力

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）	
	教科書<New Rays II>	副教材<Contemporary Topics 2>
1 学期	Ch.1 Words that Can Guide You in Life Ch.2 Stationary-Changing Our Lives for the Better Ch.3 Salt: More than Just a Seasoning Performance Speech, Group Presentation, Oral Reading Test	UNIT 1 Sociology: Name UNIT 2 Linguistics: Global English CLIL Approach
2 学期	Ch.5 Welcome to Costa Rica: An Invitation to Ecotourism Ch.6 The World Is Not So Simple Ch.8 An Ainu Girl named Yukie Ch.9 The Miracle of the Abu Simbel Temples Performance Group Presentation, Skit	UNIT 3 Psychology: Phobias UNIT 5 Education: How We Each Learn Best CLIL Approach
3 学期	Ch.4 The story of Holly Butcher Ch.7 The Psychology of Everyday Experience Ch.10 Physics Goes a Long Way Performance Video Taking(Presentation)	UNIT 9 Public Health: Global Epidemic UNIT 10 Urban Planning: 21 st Century Cities CLIL Approach

* 太字の単元は重点的に学習する予定である。

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現Ⅱ	単位数	2	年次	2年次
担当者	富田 大介						
使用教科書	MAINSTREAM Ⅱ（増進堂）						
副教材等	Insight 英文法・語法・熟語・問題集（Keirinkan） Reading Comprehension 1, 2, 3 Longman Other short Stories Mujina, Little Prince, O'Henry, Steve Jobs						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

The main goal of this course is to help students use English fluently, focusing on grammatical structure. By learning grammar, students can improve their English skills—reading, writing, listening, and speaking. Grammar is important for using English correctly. This course will help students build a strong foundation in the four skills through grammar practice. Students are also encouraged to look up things they don't understand. Learning English takes time and steady effort. Through this course, students will learn the importance of studying step by step.

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅱより）

Student Agency	聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①国際性 ②協同性 ③学習ストラテジー	①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
② 主体的・自律的に学び、互いを認め合い、協同して課題解決に向かうことで、自分と仲間の学びを高め合うことができる。	① 音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、ある程度流暢に読むことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、概要をつかんだり必要な情報を読み取ったりすることができる。 ③ 段落の構成や展開を意識し、未知語の意味を推測しながら読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをある程度適切に伝えることができる。 ② 対人関係によって表現を選択しながら、相手に意見を求めたり話題転換したりするなどのストラテジーを用いてやりとりを続けることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら、ある程度流暢に話すことができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、再話する、あるいは要約して話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、要約して書くことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して書くことができる。

3. 評価の観点と評価方法

	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を、正しく理解し、英文を正確に書く力をつけられているか。	目的・場面・状況等に応じて語彙が使えるかどうか。学んだ表現を使って、聞く、話す、読む、書く力が身についているか。	学んだことを活かして、自分の意見や考えを表現できるようになっているか。
評 価 方 法	定期考査 パフォーマンステスト、課題、小テスト	定期考査 パフォーマンステスト、課題	課題等の提出状況

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）	
	教科書	副教材
1 学期	Part 1 Speech Introducing Yourself Part 2 Presentation Sharing Your Information	Insight Reading Comprehension 1 Short Stories
2 学期	Part 3 Discussion Exchanging Your Ideas Part 4 Debate Arguing For or Against a Proposal	Insight Reading Comprehension 2 Short Stories
3 学期	Part 5 Essay Writing Writing about Our Society and the World	Reading Comprehension 3 Short Stories.

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	3	年次	3 年次
担当者	南 美佐江						
使用教科書	FLEX English Communication Ⅲ（増進堂）						
副教材等	Contemporary Topics 2（Pearson）, original materials						

1. いい学びをつくるためのマインドセット

The aim of this course is to lay a solid foundation for the 'global communicative competence' that you will need in the near future. Communicative competence refers to the ability to build healthy relationships with others. You will need to learn not only to write and speak fluently, but also to understand people from different backgrounds. You will also need to learn how to keep abreast of what is happening in the world around you. Let's work hard together so that you can realize your dreams in a bright future!

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List（高Ⅲ）より

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 様々な英語の音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、自然な速さで流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをほぼ適切に伝えることができる。	① 自然な音声変化をつけながら発音することができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら要約して書くことができる。
② 社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。（難しい内容のものは、視覚的支援を活用してもよい。）	② 辞書を活用しながら、社会的な話題についての文章や学術論文の概要や詳細を理解することができる。	② 相手の意図を受け止め、表現上の困難に出会っても既知語を上手く使い、流暢に会話を続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら再話する、あるいは要約して話すことができる。	② 社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に書くことができる。
	③ 段落の構成や展開を意識して内容を把握し、再話できるようにまとめることができる。		③ 社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。	

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を正確に使うことができるか (40%)	目的・場面・状況に合わせ、聞き、読み、話し、書くことができるか (40%)	よりよい思考・判断・表現を追求することができるか (20%)
評 価 方 法	定期考査（25%） 課題、小テスト（15%）	定期考査（25%） プレゼンテーション、課題 (15%)	プレゼンテーション、リフレクション (20%)

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	Theme 1: Health and Medicine <i>Contemporary Unit 9 "Global Epidemic"</i> <i>Contemporary Unit 11 "DNA Testing"</i> + original materials Theme 2: Life and Society <i>FLEX Lesson 2 "Expanding World Population"</i> <i>FLEX Lesson 7 "Sustainable Lifestyle of Edo Period"</i> <i>Contemporary Unit 10 "21st Century Cities"</i> <i>Contemporary Unit 12 "Risk Management"</i>
2 学期	Theme 3: Human Rights <i>FLEX Lesson 4 "Visas for Life"</i> + original materials Theme 4: Life and Art <i>FLEX Lesson 3 "What Makes a Hit Song?"</i> <i>FLEX Lesson 6 "Mr. Price Meets Jakuchu"</i>
3 学期	Theme 5: Life on Earth <i>FLEX Lesson 9 "In Defense of Zoos"</i> <i>FLEX Lesson 10 "Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna"</i> + original materials

* 状況に応じて学習する単元の順番を入れ替えることもある。

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	論理表現Ⅲ	単位数	2	年次	3 年次
担当者	伊佐 達輝						
使用教科書	MAINSTREAM Ⅲ（増進堂）						
副教材等 （出版社）	Contemporary Topics 2 （Pearson） 整理と演習 英文法 （啓林館）						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

In this course, you will develop academic skills such as listening, critical thinking, discussion, presentation, and study skills in real-life academic and professional contexts. You will learn the value of understanding and exchanging contemporary ideas across different academic fields. You will also improve skills such as note-taking, organizing ideas, and critical thinking by using English.

To get the most out of this course, it is important to have a positive mindset toward learning. Be ready to challenge yourself, share your ideas, and learn from others. Do not be afraid of making mistakes. At the same time, careful use of grammar and vocabulary will help you communicate more clearly and effectively. By the end of the course, you will be able to express your ideas more clearly and confident

2. 学習の到達目標 英語科 Can-do List （高Ⅲより）

聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
① 様々な英語の音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、自然な速さで流暢に読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをほぼ適切に伝えることができる。	① 自然な音声変化をつけながら発音することができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら要約して書くことができる。
② 社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。（難しい内容のものは、視覚的支援を活用してもよい。）	② 辞書を活用しながら、社会的な話題についての文章や学術論文の概要や詳細を理解することができる。	② 相手の意図を受け止め、表現上の困難に出会っても既知語を上手く使い、流暢に会話を続けることができる。	② 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら再話する、あるいは要約して話すことができる。	② 社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に書くことができる。
	③ 段落の構成や展開を意識して内容を把握し、再話できるようにまとめることができる。		③ 社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。	

3. 評価の観点と評価方法

観 点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の	語彙、文法を、正しく理解し、英文を正確に書く力をつけられているか。	目的・場面・状況等に応じて語彙が使えるかどうか。学んだ表現を使って、聞く、話す、読む	学んだことを活かして、自分の意見や考えを表現できるようになっているか。

趣 旨		む、書く力が身につくか。	
評 価 方 法	定期考査 パフォーマンステスト、課題、 小テスト	定期考査 パフォーマンステスト、課題	課題等の提出状況 アクティビティへの取り組み

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）	
	教科書	副教材
1 学期	Part 1 speech Talking About Your Ideas Part 2 presentation Sharing Your Information	Contemporary Topics 2 整理と演習 英文法
2 学期	Part 3 discussion Exchanging Your Ideas Part 4 debate Arguing For or Against a Proposal	Contemporary Topics 2 整理と演習 英文法
3 学期	Part 5 writing Writing about Our Society and Future	Contemporary Topics 2

5. 科学の学び(SSHプログラム)との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	時事英語	単位数	2	年次	3 年次
担当者	南 美佐江 松田 真由子						
使用教科書	CLIL: Discuss the Changing World 3（成美堂）						
副教材等	original materials						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

The aim of this course is to lay a solid foundation for the 'global communicative competence' that will be required in the near future, particularly in relation to current affairs. Communicative competence refers to the ability to build healthy relationships with others. It is not only necessary to acquire the ability to write and speak fluently, but also to develop the capacity to understand people from different backgrounds. Furthermore, you will need to learn how to stay informed about what is happening in the world around you. You must also acquire the critical thinking skills and advanced English proficiency required to express your own views on current affairs. Let's work hard together to build a bright future!

2. 学習の到達目標

- Listening:社会的な話題についての話を聞いて、適宜視覚的支援を活用しながら、概要や要点をほぼ理解することができる。
- Reading: 社会的な話題についての文章の概要や詳細を理解し、再話できるようにまとめることができる。
- Speaking:社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。
- Writing:社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的にかくことができる。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙、文法を正確に理解し、使用することができるか (40%)	目的・場面・状況に合わせて、聞き、話し、書くことができるか (40%)	授業中での活動に積極的に取り組むことで知識・技能を高め、自己の表現力を高めようとしているか (20%)
評 価 方 法	定期考査 (20%) 小テスト (20%)	定期考査 (20%) プレゼンテーション(20%)	課題、リフレクション (20%)

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	Theme 1: Health and Medicine Unit 6 Eating Habits *original materials Theme 2: Economy and Society Unit 1 Population Pyramids Unit 12 Poverty and Monetary Society
2 学期	Theme 3: Human Rights Unit 5 Japanese Morality Unit 8 LGBTQ+ Theme 4: Environment Unit 3 Carbon Neutrality Unit 7 Ethical Consumption Unit 11 Tourism in Japan
3 学期	Theme 5: Digital Age Unit 2 AI and Human Beings Unit 4 Combating Biases

* 状況に応じて学習する単元の順番を入れ替えることもある。

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- ☒ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☒ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☒ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☒ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	外国語科	科目	異文化理解	単位数	2	年次	3年次
使用教科書 (出版社)	『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語ー』 (駿河台出版社)						
副教材等	なし						

1. 良い学びをつくるためのマインドセット

フランス語を通じて英語の仕組みを確認したり、フランスの社会や教育を知って日本の立ち位置を俯瞰して見つめたりすることで、受験の先にある学びにも目を向けてもらえたらと思います。

2. 学習の到達目標

- ・フランス語の会話表現を学びつつ、文法の仕組みについても理解する。
- ・フランスの社会、教育制度、歴史、文化についての知識を深める。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	単元ごとの確認テスト 定期試験	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 定期試験
評 価 方 法	授業内で学んだ表現を確認する。	授業内で学んだ内容を発表し、運用能力が身についているかを見る。	授業内で学んだ内容を発表し、運用能力が身についているかを見る。定期試験では、フランス文化について出題する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	挨拶、自己紹介、話せる言語・持ち物を言う、家族の紹介（Leçon0-4）
2学期	予定を言う、日課を言う、人やものを言い換える（Leçon5-8）
3学期	過去を語る（Leçon 9）

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- ☐ 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- ☐ 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- ☒ 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- ☐ 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- ☐ 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- ☒ 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

附属天王寺英語科CAN-DOリスト(ver. 220119)

	Student Agency	聞くこと	読むこと	話すこと（やりとり）	話すこと（発表）	書くこと
	①国際性 ②協同性 ③学習ストラテジー	①音声 ②内容理解	①音読 ②内容理解 ③リーディングストラテジー	①身近な話題から社会的な話題など ②コミュニケーションストラテジー	①発音 ②事実情報 ③考えや気持ち、意見、主張	①事実情報 ②考えや気持ち、意見、主張
高3	 ① 国際社会で起こっていることを知り、言語や文化の違いを踏まえ、他教科で学んだことを生かしながら課題を解決しようとすることができる。	① 様々な英語の音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。 ② 社会的な話題についての話を聞いて、適宜視覚的支援を活用しながら、概要や要点をほぼ理解することができる。	① 音声変化やイントネーションをつけながら、自然な速さで流暢に読むことができる。 ② 辞書を活用しながら、社会的な話題についての文章や学術論文の概要や詳細を理解することができる。 ③ 段落の構成や展開を意識して内容を把握し、再話できるようにまとめることができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをほぼ適切に伝えることができる。 ② 相手の意図を受け止め、表現上の困難に遭遇しても既知語を上手く使い、流暢に会話を続けることができる。	① 自然な音声変化をつけながら発音することができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら再話する、あるいは要約して話すことができる。 ③ 社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、論理構成に気をつけながら要約して書くことができる。 ② 社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、複数の観点から自分の意見を論理的に書くことができる。
高2	② 主体的・自律的に学び、互いを認め合い、協同して課題解決に向かうことができる。  ③	① 音声変化などを理解し、自然な速さの発話を理解することができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をほぼ理解することができる。	① 音声変化やイントネーションに気をつけながら、ある程度流暢に読むことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、概要をつかんだり必要な情報を読み取ったりすることができる。 ③ 段落の構成や展開を意識し、未知語の意味を推測しながら読むことができる。	① 身近な話題から社会的な話題まで、相手の発言を受けて即興で自分の考えをある程度適切に伝えることができる。 ② 対人関係によって表現を選択しながら、相手に意見を求めたり話題転換したりするなどのストラテジーを用いてやりとりを続けることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら、ある程度流暢に話すことができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、再話する、あるいは要約して話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備したメモを見れば、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、要約して書くことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、根拠や具体例を挙げながら、自分の意見を論理性に注意して書くことができる。
高1	学習スタイルに応じて、学習方法、内省する、他者と協力するなどの学習ストラテジーを選択して、効果的に使うことができる。 	① ゆっくりはっきりとした発話であれば、理解することができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての話を聞いて、概要や要点をある程度理解することができる。	① 音声変化やイントネーションを意識して読むことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題についての文章を読み、話の展開やその全体像を想像することができる。 ③ 辞書を活用しながら、文中の品詞や意味のまとまりを意識して読むことができる。	① 身近な話題や関心のある社会的な話題であれば、相手の発言を受けて、間違いを恐れず即興で自分の考えを表現することができる。 ② 相手の発言内容を確認したり、つなぎ言葉（gap fillers）を使ったりして、やりとりを続けることができる。	① 発音、リズム、イントネーションに注意しながら発音することができる。 ② 聞いたり読んだりしたことを、具体的に話すことができる。 ③ 身近な話題や関心のある社会的な話題について、事前に準備をすれば、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して話すことができる。	① 聞いたり読んだりしたことを、具体的に書くことができる。 ② 身近な話題や関心のある社会的な話題について、具体例を挙げながら自分の意見を論理性に注意して書くことができる。